

令和5年度 朝霞市立朝霞第五小学校 学校評価書

○自己評価の評価基準 A:できている B:どちらかと言えばできている C:どちらかと言えばできていない D:できていない

○学校関係者評価の評価基準 ・自己評価と同じ評価の場合→自己評価は妥当であると判断 ・自己評価と異なる評価の場合→学校関係者評価委員会としての見方を示す

評価領域B7:H14H24B7:H30		自己評価の評価基準 ★校長自己評価シート項目から	自己評価	◇学校としての考え ◆課題・改善点	関係者評価	学校関係者評価委員の 意見・提言
I ・円滑な目標校の運営 現化	①学校の組織運営 危機管理 業務改善	・学校経営方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等 ・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用 ・情報規定と持ち出し規則	A	◇年度当初、校長は「学校経営方針」とともに朝霞市服務規程に則った「服務に関する基本姿勢」を職員に示し、目指す学校像の具現化を説明するほか、朝霞第五小学校の職員として遵守すべき服務態度について職員に周知した。 ◇各種たより等のペーパーレス化については取り組み始めて2年目を迎え、保護者・地域の理解も深まってスムーズに進められた。 ◇学校は、教職員に継続して繰り返しの研修をとおして危機管理意識を醸成し、教職員の意識が高まってきている。 ◆学校は、より円滑な学校運営・教育を実現するために、校務分掌の仕組みを見直していく必要がある。	A	○ペーパーレス化について、在学者の方々にはほぼ周知されていると感じます。新入生のフォローを厚く指導することで更に、浸透されていくと思います。 ○日々の学校の様子などHPで公開していることはとても助かっているもので、今後も継続して行って欲しい。 ○校務分掌について 引き続き課題となっています。（具体的なことがわからないので申し訳ありません。）職員数が少ない学校に比べると、各自の負担が少ないように思いますが、変わってきている状況等に合っていないということでしょうか。 ○課題に対しての対策・対応は達成されていると感じております。様々な校内研修やペーパーレス化等の時代に沿った対策も多く見受けられます。 その反面、コロナ禍もあり、教職員の皆さんと保護者とのコミュニケーション不足等の原因によって価値観や教育論がズレて来ているようにも感じております。基本姿勢以前の問題で子ども達に寄り添う姿勢を、学校と家庭と地域で連携を深めることが重要に感じております。
	②基礎学力の定着 道徳教育 令和の日本型教育の実践 特別支援教育 研究・研修	・指導計画の立案 ・「令和の日本型学校教育」の実現（個別最適な学び、協働的な学び）の実践 ・主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 ・指導方法の工夫と改善 ・評価、評定の工夫 ・タブレット端末の活用促進 ・道徳科と各教科との関連 ・道徳の実践力の育成 ・家庭、地域社会との連携 ・特別支援教育の理解と推進 ・通常学級との交流 ・教員の資質向上	A	◇学校は、文科省の示す「令和の日本型学校教育」の実践を目指し、外部講師を招聘しての校内研修に積極的に取り組んだ。 ◇学校は、防犯教育、人権教育、校内研究に係る教職員研修を行い、教職員の資質向上に取り組んだ。 ◇学校は、教職員がタブレット端末を活用しての授業改善に進んで取り組み、活用スキルに自信をもつ教職員が昨年度より増えている。 ◇学校は、特別支援教育に係る巡回相談や特別支援教育推進専門員を活用して、学校全体の特別支援教育に関する指導技術の向上に努めた。 ◆学校は、学校教育全体をとおして道徳教育を推進するとともに、「考え、議論する道徳」の授業実践について研修を深めていく必要がある。 ◆学校は、教育基本法及び教育公務員特例法に定められた研修に、謙虚な姿勢で意欲的に学び続ける職員を育成していく必要がある。	A	○「道徳」について、保護者のある年代の方々には学校で学んでいない方もいるかと思うので、保護者も一緒に学んでいくことでより深く「考え、議論する道徳」が学べると思います。 ○教育環境については、タブレットの導入等は評価しています。 ○特別支援学級においては児童が自力で取り組めるよう配慮されていたり気持ちの切り替えがスムーズにできるよう声かけをされていてそれぞれが 前向きに取り組んでいる様子がみられました。 ○文科省や教育研修に従った運営をさせていただいている事は理解でき、評価します。 しかしながら、全項目で言えますが、スキルや指導方法以前の課題が大きく感じてしまいます。 挨拶やゴミが落ちているにもかかわらず、素通りしてしまう教職員や保護者の背中を見られている事を忘れてしまっているように感じます。決して教職員だけが悪いのではなく、学校と家庭と地域で協力し合って、道徳やモラルを子ども達への見本・手本となるように大人達が変

Ⅱ 学 力 向 上 ・ 豊 か な 人 間 性 ・ 健 康 ・ 体 力 向 上 を 養 う 教 育 活 動					わらなければならないと感じます。 ○子どもたちが関心を持ち易い内容のテーマ設定や子どもたち同士だけで話し合ったり、時には先生同士が話し合う場面を子どもたちに見せたりなど、話し合うことやそれぞれの意見を尊重して、解決を導く意義を伝えていくことが大切かと感じます。
	③生徒指導 教育相談 規律ある態度	・学級活動、学級経営 ・組織的な生徒指導 ・問題行動への対処 ・教育相談、生徒理解 ・いじめ防止対策 ・個別の指導計画、支援計画 ・諸機関との連携 ・不登校対策委員会など 校内支援体制の整備	A	◇学校は、年度当初に学校における「いじめ防止基本方針」を定め、地域や保護者に学校ホームページで公表している。 ◇学校は、教育相談や生徒指導に関する研修を行い、教職員のいじめに関する危機管理意識の向上に努めている。 ◇学校は、保護者からの相談を受けた際には、各主任のほか管理職と連携して組織的な対応を行った。 ◆保護者からの相談を受けた担当から、より速やかに、より正確に学校全体で情報共有していく必要性がある。 ◆学校は、指導に関する基本的な考えを教職員全体で確認し、学級・学年を超えて同歩調で積極的な生徒指導を行っていく必要がある。	A

Ⅲ 地域連携	⑤地域とともにある学校づくり	・学校情報の発信（学校HPなど） ・学校公開・授業参観 ・個人面談の実施 ・充実した学校運営協議会の実施 ・地域、三中学校区間連携 ・PTA、学校応援団活動等の活性化	B	◇学校は、学校ホームページや配信メールを活用して積極的に情報公開を行った。 ◇学校は、学校運営協議会委員とともに、より良い学校運営について実りある熟議をすることができた。 ◆学年や分掌に関する取組については、各種たよりのほかにも情報発信していく努力が必要である。 ◆学校運営協議会の取組については、昨年度に引き続き会議結果の公表や職員の参加などにより浸透させていく必要がある。	B	○HPについては、見に行かなくてはいけないというハードルがあるため、SNSの活用も検討してみるのはいかがでしょうか。行内に関してはPTAと連携しBANDの活用も効果があると思います。三中校区ふれあい活動は、とても活気のある会となったと思います。 ○運営協議会の数値が低いので、会議結果の周知・職員の参加を積極的に希望します。 ○見やすいホームページと細やかな配信メールでペーパーレス化も定着してきていると思います。 ○学校公開の授業時間が せめて もう1限多いと、兄弟が在学されている保護者の方もゆっくり参観 出来ると思います。 ○ホームページも一新され、情報公開は積極的に活用できていると感じます。しかし受け取る側の家庭や地域がそこに追いつけていないように感じます。 学校運営協議会やPTA、学校応援団、町内会をはじめとする地域の皆様のそれぞれの活動は充実しておりますが、それぞれの連携と会員一人一人の帰属者意識の希薄化が課題だと思っています。 ○職員の参加による理解や浸透の必要性も課題ではありますが原点となる学校とは教え・学びの場であることを鑑み、職員が児童への指導に重きを置き、職務に集中できる環境づくりを学校運営協議会が外郭からサポートしていくことも大切かと感じます。
Ⅳ 特色ある取組	⑥特色ある教育活動	・本校の特色ある教育活動に関わる項目 ・昨年度の学校評価を踏まえた課題への解決	A	◇学校は、ポストコロナの時代を見据えて学校行事を精選し、コロナ前に即した教育活動を、内容を変更した上で復活させた。それにより、昨年度に比べて多くの保護者や地域の方々に学校を開くことができた。 ◇課題となっているあいさつ指導について、児童委員会が率先して行う取組のほか、教職員への啓発、学校運営協議会を巻き込んだ取組など、指導方法や手段を工夫・改善して実施した。 ◆学校は、増加するネット被害やネットいじめの防止について、さらに情報モラル意識を児童に指導していく必要がある。	A	○児童から自発的にあいさつをしようという気持ちを感じられるようになりました。 ○五小児童はとても積極的に挨拶をしていただけていると感じます。 ○ネット被害・ネットいじめに関しては、どんな被害内容かも気になってます。 ○ポストコロナ対応として保護者や地域と連携を図り、子ども達を共に見守る為にも、働き方改革の捉え方が重要だと感じます。 特色を活かしていく為にも、受賞したビオトープの活用と情報発信に取り組んでいただきたいと期待します。 また、市内小学校の彩夏祭、鳴子への参加も他校へ広めて行くことが課題だと感じております。 ICTの充実や活用、モラルといったものは、学校だけでなく、第一義的な責任は保護者にありますので、連携が最重要だと感じます。